

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

# 国際・地域連携センター ニュースレター 〈第4号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者:吉用

## はじめに

文部科学省、経済産業省、農林水産省の3省は、地域の特性を活かした持続的・発展的なイノベーション創出に向けた主体的な取り組みに対し、関係府省の施策による支援を行う「地域イノベーション戦略推進地域」を募集しておりました。高知県はこれに“グリーンイノベーション推進地域”として産学官で応募し、平成23年8月1日付で採択されました。

高知県の提案は、本県の優位な環境特性と地域資源を活用したエネルギー永続地域の構築を目指すものです。本事業において、学が有する知的資源が大いに期待されています。特に、地域指定を受けたことで、学に対しても文科省等で実施する関連事業の優先的な実施や事業採択に際して一定の考慮が行われる、といった支援があります。今回の地域指定を活用することで、新エネルギー分野研究の競争的資金の採択可能性が高まることが見込まれます。先生方におかれましては、積極的な競争的資金の獲得と、得られた研究成果の地域還元にご協力いただければ幸いです。

高知県庁 HP:

<http://web2.pref.kochi.jp/kisya/inet/html/00021/00021301.html>

文部科学省 HP:

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/23/08/13](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/08/13)

## 目次

### p1 はじめに

### p2 地域連携・再生部門

Topic1. 本学附属病院から室戸へ遠隔健康指導

Topic2. 県民に学びの場を提供

### p4 産学官連携部門

Topic1. 四国の素材を活用した新商品開発のヒントを探る！

### p5 知的財産部門

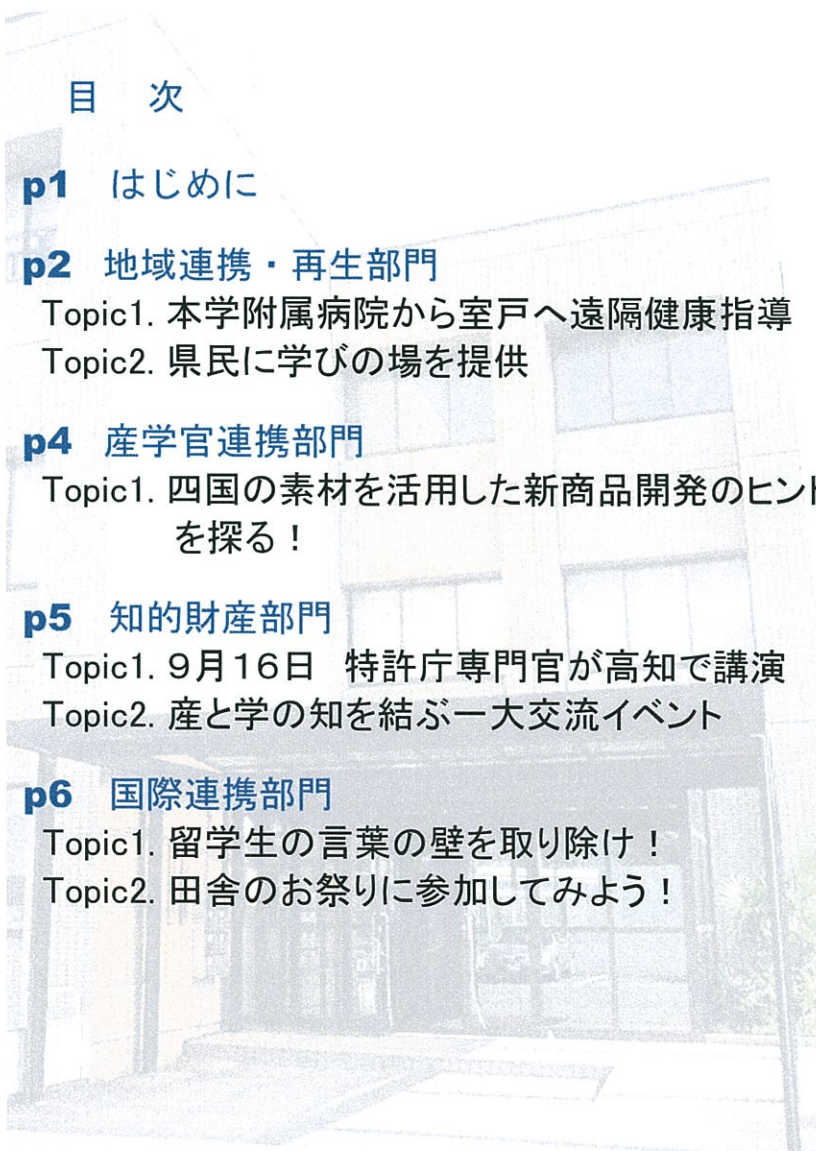
Topic1. 9月16日 特許庁専門官が高知で講演

Topic2. 産と学の知を結ぶ一大交流イベント

### p6 国際連携部門

Topic1. 留学生の言葉の壁を取り除け！

Topic2. 田舎のお祭りに参加してみよう！



## Topic 1. 本学附属病院から室戸へ遠隔健康指導 ～水中運動プログラムの成果発表会に TV 会議システムを利用～

8月3日(水)、室戸市の保健福祉センター「やすらぎ」にて、室戸市民を対象とした「変形性膝関節症予防・改善水中運動プログラム」の成果発表会を開催しました。本プログラムは、高知大学と室戸市との連携事業の一つであり、海洋深層水活用施設「シレストむろと」にて、65歳以上で膝関節症の予防・改善に意欲を持つ市民13名(3年間累計61名)が参加し、水中運動の有用性を実感しました。膝関節症の他、メタボ改善プログラムも実施しており、こちらの参加者は累計45名となっています。

本年度の新たな取り組みとして、テレビ会議システムを活用し、本学医学部から室戸市への遠隔指導を試行しました。通信状況に支障はなく、参加者からの細かな質問に対しても、リハビリテーション部石田准教授が的確に対応されました。本県の立地条件や年配者の多さを鑑みると、遠隔診断の必要性は高いと思われます。今回の事例を参考に、益々のサービス向上や他市町村への適用に繋がることを期待されています。

室戸市との連携事業にご協力いただいている高知大学附属病院リハビリテーション部の石田准教授と永野助教に、お礼申し上げます。



水中運動プログラム実施中の様子



TV 会議システムを利用した成果発表会

## Topic 2. 県民に学びの場を提供 ～秋の公開講座とオープンクラス2学期 開講～

高知大学では、生涯学習社会の形成に向けて様々な活動を行うことで、「地域の独自性」や「地域の活性化」に資することを目指しています。「秋の公開講座」と「オープンクラス(2学期)」もその活動の一つであり、学外から広く受講生を募集しています。

「秋の公開講座」は、地域に重心を置いた講座内容となっています。全7講座、9月15日(木)から受講生の募集が開始され、10月初旬ごろから開講し始めます。詳細は次頁のチラシをご参照ください。第2群の講座は高知市との共催のため受講無料となっています。

「オープンクラス(2学期)」は、本学の学生とともに本授業を受講するものであり、興味・関心に応じて幅広い分野から講座を選べます。入門的な内容から高度な専門分野まで多種多様な講座が揃っております。受講生の募集開始は9月12日(月)、開講期間は10月から約5ヶ月です。詳細は当センターのHPをご参照ください(<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/2011open/11open.html>)。

非常に多数の先生方にご協力いただき、開講準備が整いました。関係された先生方にお礼申し上げます。

## 平成23年度 秋の公開講座（3講座群）

①公開講座（第1群：一般教養・現代テーマ等）

●募集人員 30名ほか ●受講料 6,200円

高知大学朝倉キャンパス

講座名	講師	開講日	曜日	時間帯	備考
グラフィックデザインを楽しむ	吉岡 一洋	11月4日～12月2日 (全5回)	金	夜間	募集人員 10名
開発途上国論	菊地 智徳	10月5日～10月26日 (全4回)	水	夜間	
愛の心理学・総集編：恋愛・婚活マニュアルの“うそ/ほんと”を読み解くための基礎知識	増田 匡裕	11月8日～12月13日 (全5回)	火	夜間	

高知市内会場（かるぽーと）

講座名	講師	開講日	曜日	時間帯	備考
震災を見据えた健康管理	渡橋 和政	10月16日～11月20日 (全5回)	日	夜間	

②高知大学・高知市共催公開講座（第2群：高知市を中心とした「地域の自然」及び「地域の社会」に関する調査「高知市総合調査」には、高知大学による緻密なデータや豊富な知識が網羅的に集約されており、2011高知市総合計画策定の基礎資料としても活用されています。この調査を教材として、高知市の持つ潜在力、可能性について講義します。）

●定員 50名 ●無料（申込不要・先着順）

高知市内会場（高知市総合あんしんセンター・高知市たかじょう庁舎・高知市文化プラザかるぽーと）

講座名	講師	開講日	時間帯	備考
<b>高知市総合調査（自然編）</b> 土佐湾の海底地形・地質とコアから読み取る環境変動	池原 実	10月26日（水）	13時30分～ 15時00分	会場：総合あんしんセンター
高知県の河川から土佐沖への物質流入とメタンハイドレートの形成	村山雅史	11月2日（水）		会場：総合あんしんセンター
高知県の淡水・汽水域の魚類～日本の淡水魚の最近の話題～	遠藤広光	11月16日（水）		会場：たかじょう庁舎
四国南部沿岸域の植生史	三宅 尚	11月30日（水）		会場：総合あんしんセンター
南海地震に備える-東日本大震災の実情と反省点-	岡村 眞	12月21日（水）		会場：かるぽーと
<b>高知市総合調査（社会編）</b> 防災活動の現状と課題 ～東日本大震災を教訓に～	大槻知史	10月19日（水）	15時15分～ 16時45分	会場：たかじょう庁舎
新しい公共とNPO	上田健作	10月26日（水）		会場：総合あんしんセンター
高知市の財政状況と課題	霜田博史	11月2日（水）		会場：総合あんしんセンター
高知市経済の特徴と課題	中澤純治	11月16日（水）		会場：たかじょう庁舎
パネルディスカッション：「これからの高知を考える 地域防災の視点から」	石筒 覚ほか 上記講師	11月30日（水）		会場：総合あんしんセンター

③公開講座（第3群：「環境」に関する人材育成を目的）

●募集人員 10名 ●受講料 有料（受講科目数によって変わります。6,200円～10,200円）

高知大学朝倉キャンパス

講座名	講師	開講日	曜日	時間帯	備考
パラタクソノミスト（準分類学者）養成講座 —自然の記録を残す人をつくる—	松井透、岡本達哉、伊藤文紀、山崎博継、坂東治男（谷地森秀二）	11月12日～2月26日 (全5回)	土・日	昼間（6時間）	

## Topic 1. 四国の素材を活用した新商品開発のヒントを探る！ ～第6回 四国食品健康フォーラム2011～

本フォーラムでは、四国5大学+産総研から食と健康に関わるプロジェクトが発表されます。食品製造・販売に携わっている企業に対し、研究機関から新商品開発のヒントを提供するものです。

高知大学からは総合科学系生命環境医学部門の永田教授が、四国で培われた微生物利用技術について講演されます。また、本学客員教授である久塚先生には基調講演として登壇していただき、最後に受田センター長が総括します。

日 時 平成23年10月4日(火) 10:30～16:30

場 所 あわぎんホール 徳島県郷土文化会館(徳島県徳島市藍場町2丁目14番地)

<http://www.tri-step.or.jp/event/20111004shokuhin.pdf>

### 基調講演・プロジェクト発表・総括

#### 【基調講演】

「四国に豊富に存在する食品としての健康素材の活用～食の暗黙知価値の活用策について～  
(株)FBTプランニング代表取締役社長(農学博士、技術士、調理師)  
高知大学客員教授、九州大学客員教授 久塚 智明 氏

四国の各県には、それぞれに特徴的な健康価値を持った食品原料・素材が豊富に存在している強みがあります。更には、それらを活用した食文化も今に伝承されており、豊富な価値ある暗黙知が存在しております。今回は、その食の暗黙知価値にフォーカスを当て、その形式知化と伝統価値を組合わせた新たな食の価値の創出に言及します。



#### 【プロジェクト発表】

徳島大学	「RNA干渉を利用したイチゴ着色の分子メカニズム解明と色を変える分子技術の応用」 大学院 ソフトサイエンス研究部 教授 野地 澄晴 氏 イチゴの着色は、光により誘導されることが知られております。われわれは光受容体等に着目し、そのメカニズムをRNA干渉により解明し、イチゴの色を変えるため、ゲノムを改変する新規TALEN技術を開発しているので紹介します。	
香川大学	「低温乾燥機を使った農産物の機能性成分の評価」 農学部 応用生物科学科 教授 小川 雅廣 氏 農産物の保存性を高める乾燥技術として、40℃以下での低温乾燥が注目を集めています。本研究では、農産物(オリーブ葉、大根、スイートパジル)を低温乾燥したとき、それら農産物の機能性成分がどのような影響を受けるのか、凍結乾燥や熱風乾燥の結果と対比しながら紹介します。	
愛媛大学	「太陽光利用型知的植物工場による農産物の高品質・安定供給」 農学部 生物資源学科 准教授 知的植物工場基盤技術研究センター 副センター長 有馬 誠一 氏 愛媛大学知的植物工場基盤技術研究センターは、農産物を限りなく4定(定時、定量、定品質、定価格)に近づけるべく、膨大な植物生育診断情報をITおよびロボット技術を活用して効果的に収集・解析し、知識ベースに基づいた知的植物工場システムの構築を目指しております。	
高知大学	「四国の歴史と文化に学ぶ微生物利用術」 総合科学系 生命環境医学部門 応用微生物学研究室 教授 永田 信治 氏 酒国土佐を支えた醸造技術だけでなく、鯉節や酒造、碇石茶や阿波晩茶、魚肥と藍玉、和紙と柿渋、醤油と糠や粕など、四国の生活と文化を支えた発酵技術から、過去を振り返り未来を考える「温故知新」の時間です。	
高知工科大学	「新たな凍結濃縮システムの開発～果汁などの液状食品の成分安定濃縮への取り組み～」 地域連携機構 連携研究センター ものづくり先端技術研究室 室長 松本 泰典 氏 魚介類を急速に冷却し、凍結しない0～-1℃の温度帯で保存可能なスラリーアイスを製造する装置を開発してきました。発表では、このスラリーアイスを紹介するとともに、新しい展開の野菜や果物の保存、また液状食品を冷却しながら濃縮する新規凍結濃縮装置の開発の取り組みについて報告します。	
産業技術総合研究所 四国センター	「生物発光による生体機能可視化技術と食品機能性成分解析への応用」 健康工学研究部門 生体機能制御研究グループ 研究グループ長 中島 芳浩 氏 夏の風物詩であるホテルをはじめ、種々の発光生物が持つ発光タンパク質は、生体の機能を簡便に解析するツールとして汎用されています。私達は、発光タンパク質を導入した細胞の「光」により、機能性成分の解析・評価を行うシステムの構築を試みています。	

#### 【総括】

高知大学	「今こそ見直そう、四国の食が持つパワーを！」 副学長 国際・地域連携センター長 受田 浩之 氏 今回の発表内容を総括して、四国で受け継がれてきた食文化の必然と、最新技術が生み出す新たなイノベーションを、「四国食品健康」ブランドを創成するためのシナリオとして展望します。	
------	--	--

## Topic 1. 9月16日 特許庁専門官が高知で講演 ～知的財産権制度説明会 2011 参加費無料・テキスト付き～

特許庁の主催により、全国47都道府県で知的財産権制度の説明会が開催されます。

本説明会は、企業等の知財部門に新たに配属された方、大学・公設試験研究機関等で研究開発に携わる方、知的財産について学びたい、興味がある方など、“初心者レベル”の方を対象としております。特許・実用新案・意匠・商標の制度概要を中心に、産業財産権に関連する支援策等の紹介もごさいます。

参加費、テキスト代は「無料」ですので、学生にも広くご紹介頂くとともに、この機会にぜひご参加頂ければ幸いです。

日時：平成23年9月16日(金) 13:30～17:00

会場：高知ちばさんセンター(研修室1)

[高知市布師田 3992-2]

ホームページ：<http://www.jpo2011.jp/>

問合せ：知的財産権制度説明会事務局

電話：03-5403-7752 E-mail:info@jpo2011.jp



## Topic 2. 産と学の知を結ぶ一大交流イベント ～第8回 イノベーション・ジャパン2011 大学見本市～

今年も産業界の技術ニーズと大学の研究シーズを結び付ける産学連携の国内最大マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン2011-大学見本市-」が、(独)科学技術振興機構(JST)と(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)主催で、下記の通り開催されます。

産が必要とする「知」と、学が生み出す「知」を結ぶ場として、企業、大学、研究機関等の方々が、プレゼンテーションやポスター展示を通じて最新の研究成果を発表する予定となっています。

本学からは、理学部 応用理学科 助教 松本健司先生の研究課題「水耕栽培における植物用鉄供給促進剤の利用」について、研究発表、ポスター展示が行われる予定となっていますので、どうか多数の方に、ご来場頂きますよう宜しくお願いいたします。

日時：

平成23年9月21日(水) 9:30～17:30

22日(木) 10:00～17:00

会場：東京国際フォーラム[東京・有楽町]

ホームページ：<http://www.innovation-japan.jp/>

問合せ：イノベーション・ジャパン 2011 事務局

電話：03-5649-8771 E-mail: event@innovation-japan.jp

知を結ぶ。  
未来の芽を育てよう！

イノベーション・ジャパン2011-大学見本市 **入場料 無料**

会期 | 2011.9.21 wed 9:30-17:30 9.22 thu 10:00-17:00  
会場 | 東京国際フォーラム [東京・有楽町] B2F展示ホール/ガラス棟  
主催 | JST 科学技術振興機構 NEDO 新エネルギー・産業技術総合開発機構  
共催 | 文部科学省 経済産業省 内閣府  
同時開催 | 第10回産学官連携推進会議

公式サイト <http://www.innovation-japan.jp> Facebook <http://www.facebook.com/innovationjapan> Twitter @ij2011\_official

## Topic 1. 留学生の言葉の壁を取り除け！ ～1学期日本語予備教育コース閉講式～

平成 23 年 8 月 9 日(火)、ガーナ出身の Winnie Naa Adjorkor Sowah さんが日本語予備教育コースを修了し、岩崎副学長(国際・地域連携担当)から修了証書が授与されました。

彼女は在ガーナ日本大使館推薦(国費外国人留学生)により、本年4月に高知大学に農学部研究生として入学し、同コースで日本語能力試験2級合格レベルを目標に、半年間にわたり文法や会話、作文等を学習してきました。

閉講式では、岩崎副学長の告辞に対して流暢な日本語で謝辞が述べられました。

今後は、あと半年間の農学部研究生期間を経て、大学院総合人間自然科学研究科農学専攻修士課程に進学を予定しています。



修了証書授与

## Topic 2. 田舎のお祭りに参加してみよう！ ～大豊町星神社秋季大祭への参加者募集中～

平成 23 年 10 月 16 日(日)、高知地域留学生交流推進会議の地域交流事業として、長岡郡大豊町星神社で行われる祭りへの参加を募集しています。年々高齢化が進行する本地区において、祭りを盛り上げてくれる若者の参加を地元の方々も待ち望んでおられます。留学生の皆様にとっても高知の伝統文化に触れる良い機会になると思われまます。

対象は高知県内の留学生で、高知大学の他に高知工科大学や高知県立大学からも参加します。所属の留学生への参加案内をお願いできれば幸いです。

定員に達し次第募集終了とします。お問い合わせ、お申し込みは国際・地域連携センター国際連携部門までお願いします。

参加費：200円(傷害保険料) ※交流会(昼食)費や往復の交通費は不要

参加費無料

2011年度高知地域留学生交流推進会議地域交流事業

いなか まつ さんか

### 田舎のお祭りに参加してみよう！

日時：平成23年10月16日(日)  
場所：高知県長岡郡大豊町星神社(庵谷)  
対象：高知県内の留学生

地域住民と交流しながら、日本の伝統文化にふれてみませんか！  
おみこしを担いでみない？

これがおみこし？  
なんだから  
楽しそうだなあ

案内チラシ(日本語版)

Admission Free

Day of International Exchanges Sponsored by the  
Kochi District International Student Exchange Promotion Committee

### Join Our Folk Festival

Date: Sunday 16 October 2011  
Venue: Hoshi Shrine, Otoyo-cho, Nagaoka-gun, Kochi-ken  
Participants: International Students in Kochi Prefecture

Enjoy traditional Japanese culture and exchanges with the local people!  
You can try carrying the float with us!

Is this the float?  
Looks fun!

案内チラシ(英語版)